高校 阿倍野新聞

発行所
大阪市阿倍野区
阪南町中一丁目
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集発行人　井上雅子

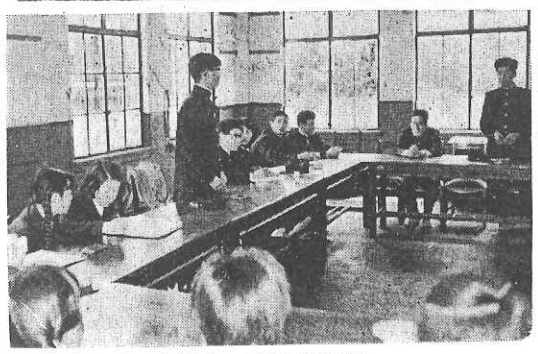
昼食・飲物は
みのわ
校内食堂

自治会会則改正される

議長は互選で

活発な自治会活動を

五月十日（火）各ホーム・ルームで自治会会則第四章第十条改正案の全校承認投票が行なわれた。この自治会会則は昭和二十七年十二月五日に成立したもので、即日効力をもった。この会則改正動議は前年度後期執行部から出され、去る五月六日第四回緊急議会において、全議員の賛成をもって承認された。なお同日（六日）本年度執行部の動機により、生徒服装の件につき規約文中一部改正された。



会議中の自治会役員
全校生徒の「活発に」の願いを背負って

改正される前年度に至るまで　後期第七回執行委員会で始めて第四章第十条改正案が出され、第四回定例議会で改正文がつくられた第五回定例議会では改正案が承認され、以後今年度第一回定例議会まで改正案は残される。今年度第一回定例議会において改正文の修正（記者席参照）第二回定例議会で再修正が行なわれた。こうして第四回緊急議会で改正文が議会を通過したのである。つづいて去る十日、全校承認投票が行なわれ、改正賛成八六六票、反対一一九票をもって、自治会会則第四章第十条が十日現在で改正されることになった。

改正理由――終始厳然たる中立を保たねばならない議長職を執行部の代表である会長が兼ねていたのでは、議会運営上不都合なことが多い。活発な自治会となるには会長は議長を兼ねない方がよいと説いている。

原文及び改正文　原文―議長は会長が事故ある時、副会長その他の執行役員が、会長の職務を代行し、会長が議事進行上必要と認めるときは臨時議長の職務を議員に委任することができる。

改正文――議長一名は、議員の中から互選により選出し、副議長一名は議長の指名により議員の中から選出される。議長が事故あるとき副会長が、これにあたり議長、副議長共に事故あるとき、議長代理を出席議員の過半数の賛成をもって、互選する。議員が議長を不適任と認めた場合は、出席議員の過半数の賛成をもって議長を罷免することができる。議長が罷免されたとき、副議長もその地位を失い共に議員にもどる。当該クラスの補欠議員はその地位を失う

改正されて　石井会長――「改正されて自分としては執行部の立場を守れるから有利だと思う。議会の運営がスムーズに行くだろう。」

松本前会長――「これで執行部の仕事が思うようにできるだろう改正されたことを活用して、活発な自治会になることを望む。」

論説

対住高戦の反省

対住高戦を終えて反省することが多くある。まず入場の行進、先生の諸君にはもうわかっていることだろう。

試合中は両校生徒とも実に和気あいあいとし、選手はスポーツマン・シップを充分に発揮して真面目にプレーして、応援する人も敵、味方の区別なくフアイン・プレーには惜しみなく拍手を送っていた。

対住高戦の目的、それは言わずとしれた『スポーツを通じての両校の親睦』である。それがこんな気持ちのいい反面、通路ではケンカをしている風景も見られた。こうなると『スポーツを通じての両校の親睦』どころでなく『ケンカを通じての両校のいがみ合い』ということにも成りかねない。町のグレン隊でもあるまいしこれこそ理性で判断するよりない。

『スポーツは勝つことではなく参加することである』というものの敗れるより勝つ方がよい。卓球が決勝戦をやりながらも役員全体に「決勝戦を認める」ということが徹底されていなかったため認められず引分けに終った。対住高戦準備の時は何の支障もなくスムーズに行ったがちょっとした手落ちがあったのだ。何よりもまず万全を期すべきである。時間にしても最後に一時間する予定であった。フォーク、ダンスも僅か二十分あまり。

準備委員は試合が長引いた時のことも考えてもっと余裕のあるプログラムが組めないものか。これも授業の延長であるからなるべく四時ごろまでに終われるようにしてほしいものである。一日が無理であれば二日間にするとか、もっと改善すべき点も考慮して来年の対住吉戦を期待したい。

記者席

執行部の独走か？

三十五年度前期役員も決定し、新役員を中心に、上層部における活発な自治会活動が繰り広げられている、その中でも、前執行部より引き継いだ会則十条の改正も功を奏し、ますます発展して行って欲しい。しかし本校自治会の長年の課題となっている。一般会員との結びつきが現在なお見られないばかりでなく、執行部の独走かのような感がある。今後の活躍に期待して以下議会の内容を掲げる。

4月19日　定例議会　出席者29名内容＝昭和34年度会計決算報告、自治会会則十条改正にあたり改正文中、正副議長のクラスは27名内容＝生徒服装の件について、規約文中「外出に際しては常に正規の服装を着用し――」を「登校に下校に際して」と改める。

5月6日　緊急議会　出席者27名内容＝対住高戦、フォークダンスの件、28日に練習。会則改正文中議長を〃交代する〃を〃能免する〃に再修正決定

4月27日緊急議会　内容＝会則改正について、罷免された議長は議員となり補欠議員は会員にもどる。なお議長一名は議員の中から互選により選出され、副議長一名は議長の指名により議員の中から選出されることに決定

5月7日　緊急議会　出席者29名内容＝執行委員の決議権について執行委員には全々決議権を認めないことに決定。

このように、五月七日現在で議決されたことは、会則十条の改正文が議会の承認され、生徒服装の文中が一部改正された。また、執行部の決議権が認められなかった。しかし、出席議員がやっと3分の2という現在の状況打破のためにも、議員の反省を望む。執行部の動機で生徒服装の件について規約文中登・下校に際し正服着用と改正された。

役員決定

延々二時間の演説会

去る四月十六日と二十日の両日昭和三十五年度前期自治会役員立候補者立会演説会が催された第一回立会演説会において、立候補者は会長をはじめすべて一年生で占められるなど異例をきわめた演説会であった。例年のこととはいいながら、会場後方よりヤジが飛び騒然きわめた風景であった。第二回立会演説会では、蜂起した二、三年生の立候補者合わせて十名という活発さであった。当日は一時限目～三時限目まで、延々二時間にわたる演説会であり、最後の演説者石井君の頃には、疲れきった聴衆者は声が出ず、いままでの騒がしい様子から一変し、静かな立会演説会となった。

大学合格者

家庭クラブ

役員改選行なわる

昭和三十五年度第一回家庭クラブ総会が四月三十日（土）午後一時より講堂に於いて開かれた。家庭クラブの歌斎唱に続き本年度の役員改選にあたり立候補者の立会演説及びその応援演説が二時間にわたり行われた。立候補者は二、三年が占め、自治会役員改選の時のいよいよ受験シーズンも終わり、喜こんだ人、悲しんだ人も一喜一憂したところである。受験者にはいろいろ反省する点も多かったことであろう。本校の進学率はあまり良いとは言えない状態であるから生徒諸君は今まですでに記載した記事を参考にして一層勉強に頑張ってもらいたいものです。来年はより一層充実した成果を期待したい。敬称略、○内は組を表わす。

〔大阪府立大学〕
工学部　宮田塩雄　卒
　　石田　稔　卒

〔大阪学芸大学〕
石田順子　⑤　永井敏郎　③

一様に一年の姿は見うけられなかった。すぐ後の投票の結果、会長に指宿喜久美さん、副会長に浦部宥子さん、書記に中西伊佐子さん、会計に本所三恵子さんで以上三年生、それに二年の水井恒子さんの五人が選ばれた。低調の声を聞いているだけに頑張って頂きたい。

特設音楽　内藤繁生　②
小学部　山下佳代子　④
社学部　田村美彌子　④

〔京都学芸大学〕
美術部　渭辺行雄　①

〔奈良学芸大学〕
家政学部　石川和子　④

〔大阪歯科大学〕
吉村茂男　①

〔京都医科大学〕
石田　稔　卒

〔和歌山大学〕
学芸部　五十嵐宏次　②
経済学部　野阪　博　①
　　関谷恭亮　卒

〔岐阜大学〕
農学部　児島忠郎　①

〔神戸大学〕
教養学部　高田征洋　①

〔信州大学〕
工学部　藤村　勝　卒
　　上野博也　卒

〔静岡大学〕
文理部　西尾　孝　卒

〔山梨大学〕
工学部　小西康雄　卒

〔愛媛大学〕
文理部　堀　宏明　卒

〔大阪外国語大学〕
ロシア語科　武藤誠四郎　卒

〔神戸外国語大学〕
英語科　岡村省一　卒

〔京都工繊大学〕
繊維部　田宅　守　卒

〔日本福祉大学〕
青木和子　卒

〔関西大学〕
工学部　河崎啓介　卒
理学部　吉永泰成　①

〔関西学院大学〕
文学部　塩野勝郎　③

〔慶応大学〕
商学部　松本光弘　③
法学部　大野博司　卒

〔日本大学〕
美術学部　福島英雄　④

〔甲南大学〕
鹿野昭男　卒

〔天理大学〕
体育科　西川公明　④

〔大阪府立短期大学〕
工学部　神吉　務　卒
　　植村昭次郎　卒

〔都立商科短期大学〕
小師俊子　⑤

〔帝塚山短期大学〕
英文学部　村田充子　④

〔樟蔭女子短期大学〕
被服科　会田志津子　②
　　川端定子　④

東京方面へ旅行

二十三日第一班出発す

昭和三十五度年修学旅行が来る五月二十三日（月）に第一班が翌日の二十四日に第二班が出発することになった。コースは大阪（上本町）――名古屋――芳野――白樺湖畔一泊　白樺湖――大屋――長野――須坂――万座温泉一泊　万座温泉（白根発山（――鬼押出――中軽井沢一泊　中軽井沢――東京（都内遊覧）東京――――大阪、期間は五月二十三日～二十七日二十四日～二十八日であり費用は一人当り交通費、宿泊費共五〇〇〇円、所用時間は九十五時間五分である。

交楽観賞

去る五月十二日（木）一、二年生が交楽座で国語科の教材として、人形浄瑠璃の観賞を行なった。まず開演前、人形浄瑠璃の始まり、人形の説明等、があった。出し物は『名目先代萩』中のクライマックスとも言うべき『御殿の場』である。この物語は有名であるから始めての観賞ではあるが、場内は整然としていた。

新任先生紹介

青木成夫先生

昭和三十二年に大阪外大を卒業され、興国商業より転任して来られました。国語方面担当で漢文、文学史等を教えて下さいます。漢文は文章を全部暗記しておられ教科書は全然いらないという程授業に対して熱意を持っておられます。しかし皆さん御用心、内職は絶対できませんよ。

御趣味は旅行との事、北は北海道から南は九州に至る迄全国各地を旅行され知識、話題の豊富な先生この旅行談を話して下さる事を期待していよう。

針小棒大

▼飛び石連休も終り、遊び疲れた身体を、毎日学校にはこんでいる内に、もう中間考査。ヤレヤレ、まあ、互いにしっかりやりましょうや。▼それはそうと、前期自治会役員選挙、例年にない狭い門？競争率は六十二％。▼でも第一回締切り日までには、たったの三人それも一年生ばっかりとはね。▼それにひきかえ二、三年生の、だらけっぷりの見事？さときたら。針で突いてもどこも感じそうにない。▼どう、選挙の折のあのヤジの馬鹿さ加減。いつものことですがネエ。何もああまで阿呆と気違いをかけ合わせたようなお脳の弱さを披露しなくてもネ。▼第一回立会演説会の時など、演説を完全に妨害。最後には木ぎれで椅子をたたいて、講堂の後半分は完全に精神病院。▼これを一体誰が叡智の学園だなどと謳ったのでしょうかネ、ホンに上手な皮肉ですよ、イヤ全く。▼学校当局もイケマセンゾ。教室で上品ぶって本を読ませて、チョクチョクの試験に良い点をとらせるばかりが能ではないですぞ。▼もっともっとワレワレの中に飛込んで悲喜哀歓を分ち合い、グングン正しい方向へ引っぱっていく頼母しさを、どうして示してくれんのですかい？鼻つまみになるような偏った人間が出来ていくというのに、そ知らぬ顔でいいもらっちゃかないませんヤ。▼また負けましたなあ住高戦。惜して戦果で残念無念。よく考えてみりゃ勉強も運動も、一歩譲っているという現実、いつになったら挽回できるんでしょうナ。諸君、他人事じゃナイデスゾ。▼あの日の試合でちょいと気になったのが、卓球試合、それがもとで両校自治会一寸ひともめ。両校自治会しっかりたのんまっせ、つまらんことで長年の友好にヒビが入ってはソマリマセンからナ。▼盛大でしたな、フォークダンス。広い運動上に二重、三重。青春の若さを大いに発散、と喜んでいる間にすぐオシマイ、でもあれでいいんですよ仲が好くなりすぎても困りますからナ。▼校庭の緑の若葉に白い雨イイ気持ですなあ、針子ちょいと失礼して庭を散歩しましょう。はい、ごめんなすって。

第七回住吉・阿倍野総合体育大会
遂に二連敗を喫す

柔道
初の勝利飾る
貫禄示した野球部

去る五月二日（月曜日）「若人の祭典」とも言うべき住吉、阿倍野総合体育大会が住吉高校運動場に於て挙行された。十一時半に一般生徒入場し同五十五分両校野球部を先頭に選手入場し開会式が開かれた。この日は卓球部が引分となり延長戦をした。これを大会本部が認める認めないかでヒトモメして結局認められず引分けとなり総計して本校の六勝七敗二引分けとなり又もや優勝旗は住高の手に渡った。（過去の対戦成績、本校の二勝五敗）

七連敗免れる 柔道

第一回体育大会以来六連敗というふがいなさの柔道。しかし「今年はいけるだろう。」という前評判の通り6勝4敗5引分けで待望の勝利を得た。部誕生以来の健闘であり、これからは練習にも活気を帯び今後の活躍が期待されるであろう。

阿倍野　住吉
○友谷（大外刈）伊予
長沢（押込み）○前田
加藤（引分け）本多
○藤井（体落し）藤田
下（引分け）吉田
柳川（引分け）茂原
○佐藤（大外刈）藤田（昌）
甲島（大内刈）○森（一）
角谷（押込み）○喜多
○岩崎（返し技（優勢））八木
若野（大内刈）○桜井
浦野（引分け）沖
大野（引分け）森（清）
○畑山（優勢）楊井
○生駒（大内刈）岩本
阿倍野　6－4　住吉

堂々入場する柔道部

硬式野球

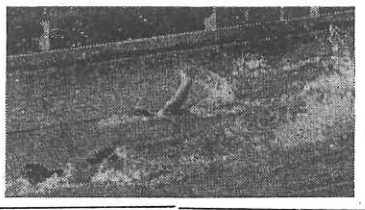
昨年5×対3と惜しくも敗れたが今年度は阿倍高生の期待を一心にくだした。阿倍高は一回裏先発若林君から1、2番が四球に出、一死後、秋岡君がバントを行い一点を先取した。2回裏も一ヒット後二死になったが、1、2番が連続ヒットし又一点追加した。3、4回もヒットがよくつゞき2点ずつを入れた。それに対して、住高はピッチャー保田君に一回は2三振と一凡打。二、三回は3者連続三振にとった。4回は一死後松本君に二塁打されたが、得点にならなかった。五回から保田君に代わり沖君がリリーフして三者凡退にうちとって快勝した。阿倍高のヒットは六本。住高は二塁打一本におわった。ピッチャー保田君は、10三振を4回でうばった。

阿倍野1122X　6
住　吉00000　0
野口柴林岡崎川川田田
倍山荒小秋神吉小保東沖
阿6725384191
吉口本　藤田林野井蹴
清松溪三堺芳深中兼
住3762918 54

水泳

四百米継泳　（阿5－0住）
一位　阿倍野　四分五二秒五
二位　住　吉　五分〇三秒二
二百米平泳　（阿3－8住）
一位坂本　三分〇〇秒〇（住）
二位佐々木三分十〇秒三（住）
三位梅園　三分十三秒六（阿）
四位小森　三分十九秒三（阿）
百米背泳　（阿2－8住）
一位木下　一分三〇秒三（住）
一位釜池　一分三三秒六（住）
三位河野　一分二六秒六（阿）
高市　矢格　（阿7－4住）
百米自由型
一位浜田　一分十二秒二（阿）
二位上田　一分十三秒六（住）
三位青木　一分十五秒九（阿）
四位柏原　一分二九秒二（住）
二百米バタフライ（阿8－2住）
一位香西　三分二五秒〇（阿）
二位奥田　三分二八秒二（阿）
三位中尾　三分三三秒〇（住）
百米平泳　（阿4－7住）
一位坂本　一分二一秒六（住）
二位梅園　一分二八秒二（阿）
三位佐々木一分二八秒五（住）
四位小森　一分二九秒八（阿）
二百米背泳　（阿2－8住）
一位木下　三分二〇秒〇（住）
二位釜池　三分二八秒八（住）
三位高市　三分四六秒〇（阿）
百米バタフライ（阿8－2住）
一位香西　一分二六秒八（阿）
二位奥田　一分二七秒八（阿）
三位中尾　一分三十秒四（住）
二百米自由型　（阿7－4住）
一位浜田　二分四六秒六（阿）
二位木下　二分五七秒九（住）
三位青木　二分〇一秒〇（阿）
四位椎原　三分四二秒五（住）
四百米メドレー　（阿2－5住）
一位　住　吉
二位　阿倍野
得点合計　阿倍野四八点
住　吉四八点で引分け

力泳する浜田君（手前）



体操

昨年度は男女そろって勝利を得ただけに〃今年も〃と張り切って練習に激んでいた。そして二日体育館に於て行われた結果男子は圧勝したが女子は惜しくも住吉の前に屈した。総計が、5・85点しか違わないだけに本校としては涙を飲んだ試合のようだった。

種目	住吉	阿倍野
男子行棒	21・80	22・55
鉄棒	21・50	23・45
徒手	26・65	23・00
吊環	22・45	24・25
計	88・40	93・25
女子平均台	23・40	19・50
跳馬	20・05	18・35
徒手	23・30	23・05
計	66・75	60・90

軟式庭球

男子　阿倍野　住吉
竹浜本口　7－4　山溝田江
川中名島部　4－2　岡北本川
村坂之上上　4－2　阪小井林
中沼州尾　0－4　雛長波野
河内村　4－3　松津本田
女子

硬式庭球

一日の試合が1対1の対スコアであっただけに両校真剣なプレーが続けられた。予想では阿倍高の圧勝だろうと言われていたが、予想を裏切り2対3と住吉高校に惜敗を喫した。

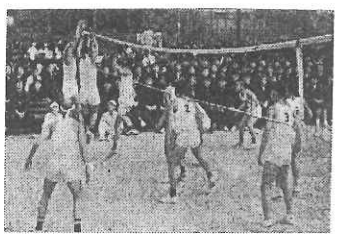
シングルス
阿倍野　住吉
小西0－2広瀬
延藤2－0北村
中山1－2小川
ダブルス
小西　谷口　0－2　広瀬　西内
延藤　中山　2－0　北村　小川
茂渡　井辺　4－3　三石　代田
加藤　鹿合　0－4　能谷　五勢

男女共快勝
〃排球〃

男子排球

試合は我が校が住吉高校に対して終始優勢に進めていった。特にキルがよく決っていた。試合中味方の一人が挫折したがそのまま続戦しなかなか活気あるところを見られたが、実力はまったく五分五分であった。三セットの後半には住高のペースに巻き込まれそうになり手に汗握る大熱戦が繰り拡げられ結局2対1と阿倍野高が勝を握った。

阿倍野2（20－22、21－11、21－19）1住吉


本校のキル決まる

女子排球

最初一セットは、ジュースに持ち込むという熱戦だった。二、三セットは、やゝ阿倍野が優勢に進めせ、最後まで熱戦がくりひろげられた。

阿倍野2（21－16、21－17）0住吉

男子籠球

前半、本校のうまい球さばきも思うようにシュート出来ずやゝ押れ気味にセカンドクオーターを迎えここで同点に持ちこもうとしたがあせればあせるほど、住吉にじりじりおされ住高の一方的勝利を思わせた。後半、本校もいよいよ持ちまえの〃球さばきのうまさ〃を発揮、ついに住吉を押えてリードした。残り時間もあとわずかになって本校は盛んにシュートの連続で、阿倍高生を喜ばしたが、残念ながらあと一発が決らず、結局後半本校は住吉を25－17と大きく引き離したものの、前半のスコアがたたり勝を逸した。

住吉40（23－11、17－25）36阿倍野

女子籠球

前半住吉が一方的にゲームを進めていったが阿倍野はセカンド、クオーターで同点に追いついた。後半フアーストクオーターでは、阿倍野勝利濃厚と思われたが、セカンドクオーターで住吉もシュートが良く決まり同点に追いつかれ双方接戦を演じたが、試合終了まじかになって、阿倍野の欠点である〃あせり〃が出て住吉の再三にわたるシュートで今年も又我が校は住吉の前に屈した。

住吉25（10－10、15－13）23阿倍野

サッカー

五月二日午後三時三分に本校期待のサッカーの試合が行われた。試合は前半戦五分経過後のシュートを住吉がものにし、やゝ阿倍野あせりを生じたかと思われたが、ようやく十五分後にシュートが決まり本校も活気づいてきた。しかし前半戦は住吉3阿倍野1に終った期待された後半戦は阿倍野有利かにみえたが思うように決まらず、結局3対1で本校は住高の前に屈した。

住吉3（3－1、0－0）1阿倍野

クローズアップ

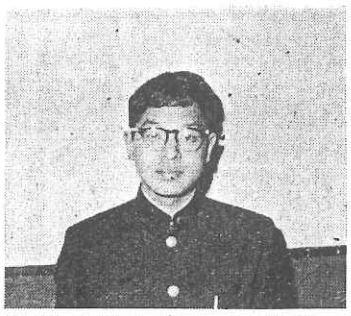
住高戦総務　北山隆

活躍していた。それに三十四年度後期の副会長、第七回対住高戦準備副委員長として自治会方面でも活躍していた。勉強と合わせて三本立てである。クラブと勉強の二本立てでも悩みの多い中を彼は三本立てでも「その人次第です」と言われるがスポーツで鍛えている腕でうまく処理しているのだろう。

野球の応援団リーダー1になった理由も「サッカー部の入が大勢リーダーになったのでバスケット部の中からも出ないと……」との事であるからいかに負けずゝ嫌いのファイト充分の人物であるか察しがつくことだろう。

しかし本人が言うには「めったに怒った事もないし、まあ大人しい方です」本人が言う事は一番確かな事であろうから総合して負けず嫌いの好人物ということになる。

対住高戦の反省すべき点も各役員は責任を持ってやってほしかったという責任感の強い彼である。「卓球では後味の悪い結果になりましたがその説明を……」「あれは……引分けの時は決勝戦をする事になっていたのですが全部の役員に徹底されず、それに他の競技も行なっていないという事であゝゆうふうになりました。今、一番反省している点です。」と謙虚に語る彼は来年はもう住高戦の世話は出来ないが一つでも多く対住高戦を現在クラブはラグビート部で活躍しているだけであるがつい最近までハーモニカの指揮者、バスケット選手と巾広く活躍してきたが、「僕等が応援練習をいくら一生懸命してもいくら生徒がついてこない様ではダメです」という彼。負けず嫌いのファイト充分の彼を「僕等が……」と言わせた阿倍高生諸君の力がいかに強いか?、彼、北山君にも分ったことでしょう。



より良くしようと努力しているのである。

音楽部に籍を入れているくらいであるから「聞く」「歌う」「弾く」と三拍子好きだとか、

陸上競技

○百米
1位　長谷川（住）11秒5
2位　森下（住）12・0
3位　谷井（阿）12〃1
○千五百米
1位　出原（住）5分5秒1
2位　福井（阿）5〃7〃2
3位　騰所（住）5〃23〃8
○八百米リレー
1位（住）森下・牧田・小野・長谷川
2位（阿）下田・谷井・中村・奈古
○走幅跳
1位　井上（住）5米77
2位　下田（阿）5〃41
3位　中村（阿）5〃33
4位　大野（住）5〃10
○走高跳
1位　達富（住）1米63
2位　小原（阿）1〃60
3位　小西（住）1〃55
4位　下田（阿）1〃54
○砲丸投
1位　風間（住）11米31
2位　奈古（阿）9〃52
3位　牧田（住）8〃95
4位　小原（阿）8〃20
○円盤投
1位　風間（住）37米50
2位　野入（阿）26〃33
3位　井上（住）25〃38
4位　小原（阿）23〃25

剣道

住吉　阿倍野
先峰○平野メコ対中村
蔵田　対コド金森○
○北村メ対岸
益子外対コメ福井○
○畑中ドド対外堤
○西野ココ対北村
○和井田コ対石橋
（コは小手、メは面、ドは胴、外は場外）
総計5－2
×　×
×　×
×　×

大会規約再考せよ

汚点残した住高戦

反省望む卓球部

去る五月二日、恒例の阿倍野、住吉総合体育大会が住吉高校グランドで開催された。十五試合中、七対六、二引分けで、本校は住吉高校の前に屈した。そのうち引分けとなった卓球試合を巡って、両校卓球の連絡不備と、準備委員の手落ちにより、後味の悪い結果となった。そこで準備委員及び卓球部の言い分を聞いてみることにしたなお卓球試合のスコアは、後に掲げてある。

卓球部から試合引き続きの連絡をうけた本部では「五時迄に試合が終るのならよかろう。こちらの運動場ではフォークダンスをするがそれでもかまわないのなら。」と返事した。喜びいさんだ卓球部は試合再開とともに熱を帯び、二対一のスコアで（通算九対八）本校の勝利と決定した。ここであわてたのが本部席であった。総成績は七対七で引きわけとなり優勝旗の行方がわからないままとなる。そこで両校卓球部部長を呼び、なんらかの方法で延長戦無効を納得させ、凱歌は住高にあがったのである。これに対し本卓球校部部員Y君は「一度は延長戦を認めながら、規約により認めないとはどうしたことか。」と奮然としていた。この事実を見て本校石井会長は「今度のことは準備委員の手おちとしか言えまい。勿論卓球部にもミスはあったが――。」と言っている。又準備副委員長北山君は「なんといわれてもこちらの不備だったとしか言えない。しかし、優勝旗の行方がわからなくなるから延長戦を認めないということは絶対にない。大会規約のこと、再考を必要としますね。」と準備委員の手おちを認めている。

大会の意義は何か

本大会のように無様な結果となったのは準備委員の手おちであるとばかりは言えまい。両校卓球部の安易な考え、連絡の不備があったのではあるまいか。ここで先程のY君に再び当場願おう。「本校は十五試合のつもりだったのが、住高が十四試合の人数しか出場させていなかった。聞くところによれば、住高の卓球部は完敗を予想してのことだとか。」と弁じ、住高卓球部は「絶対にそのように安易な気持はなかった。」と言っている。しかし真意がどこにあろうと試合数が偶数であったということに問題があるのではあるまいか。

大会を反省してもらおう。「卓球試合の件については、両校卓球部にも手おちがあり、準備委員ばかり責めるわけにはいくまい。今年になるまで大会規約に基ずくトラブルはなかったのだが、ここで再び大会規約の再考が必要だろう。とにかく両校生徒全体の今後の課題として、阿倍野、住吉合同体育大会の意義をもう一度考えて欲しい。」

卓球対戦成績

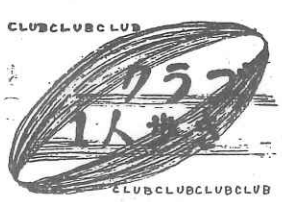
（男子）

阿倍野		住吉	
伊与田	2対0	東	尾
中川	2対0	木	原
田中	2対0	田	中
土橋	2対1	梶	川
安井（栄）	2対1	奥	田
茶弘	0対2	上	野
安井（広）	2対1	矢	野
（伊与田 土橋）	2対0	（上野 矢野）	
（中川 安井（広））	1対2	（田中 東尾）	

（女子）

鈴木	0対2	村	上
指宿	1対2	二本松	
辻川	1対2	小	柴
近藤	0対2	拍	原
（辻川 指宿）	1対2	（村上 小柴）	

社会研究部



去る四月二十八日、顔面を紅潮させて、激烈な話し合をしている男女十三名。今日の話題は「再軍備について。」だそうだ。なにしろ阿倍高の矛盾を追求しかつ、少しでも改善を――という強者ぞろい。今日のようにけんか腰の討議もめずらしくあるまい。

一年に二回機関紙を発行し、又時々彼らの研究、討議したことを、掲示するのだという。そして一般阿倍高生に〝考える〟重要さと、その楽しさ必要性をわかってもらえれば、うれしいとのことである。

矛盾とは！

ところで社会科研究部の特色としては部員一同非常に仲が良く団結力に富んでいるということらしい。しかし彼らの言い分を借用すれば、彼らの団結とは彼らの仲間の一人が退部するとすれば、たちまちにしてクラブがつぶれてしまう恐れがあるというのだ。一風変った団結であるということを自他共に認めていると、彼らは笑う。

また、このクラブの一つの悩みは、新生及び二年生の部員がたったの三名ということらしいその上、一・二年男子は〇であるということだ。だから、現三年生が出て行った後が、心配だそうだ。そして彼らはこうも言う。「僕達は社会の矛盾を追求しようとは思うけれど、それによって、いろいろな社会的運動に参加しようとは思っておりません。とにかく僕らは学生ですからね。」と――。

又、こうもつけ加えてくれた。「現在の社研は危機に直面しています。僕らの仲間が一人欠けそうですから。」

淡々と語ってくれる彼らに、どうしてあの激火を思わせるような態度が見られよう。

そうして阿倍高の社研部が、ゆがめられた団結力のためにつぶれることがあるだろうか。

一週間に一度の部会。自分の考えと、自分を強調でき、本校クラブのうち特異な存在ではなかろうか。

高田先生を顧問に、部員十三名全員が部長のつもりで、スムーズに運営されている。

ここで記者は社研部に望みたい矛盾を追求するのも結構。少しでも阿倍高を改善してくれようというのも大いに感歓する。

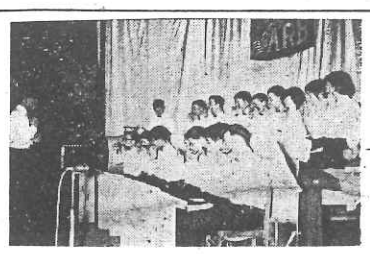
しかし、社研部というカラにとじこもることなく、広く阿倍高と阿倍高生を見ていただきたいたま、社研部自身にも矛盾というものがないかどうか、ジックリと考えて欲しいものだ。

討議する社研部員

ハーモニカ部

歴史の中に一ページしるす

ARBの名で長い間皆さまに親しまれてまいりましたハーモニカ部も四月十八日の最終演奏会を持って解散致しました。思えば二十六年に本校で唯一の器楽部として出発して早や十年、その記念すべき十年目に解散するのはいささか残念でありますがブラスバンド発展のため、又過去の幾多の先輩の功を恥かしめないためにもこの度解散したのが最も良い時期であったと思っております。四月十八日は我々ハーモニカ部にとって最後の演奏会と言うより我々のテーマソング『マイアミビーチルンバ』を皆様に聞いて頂ける最後の演奏会でした。ARBだけの演奏会でしたのに皆様が多数御来場くださいましてありがとうございました。ハーモニカ部のすべては終りました。しかし我々は過去のクラブとして阿倍野高校の歴史の中に一ページをしるすことが出来ましたのを喜ぶとともに誇りに思っております。なおハーモニカ部はOBを結成致しまして二年後の文化祭に演奏する事に決定致しました。その時は皆さんよろしくお願いします。



〔ARB部員一同〕

女子排球部

住高戦を目前に控えたある日、日ざしの強くなってきた校庭で猛練習中である女子排球部を訪ねた。キャプテンの米田さん（三年生）をとらえ色々聞いてみた。「住高戦も真近かですけど担負は」「勝つ自信はあります」と笑いながら自信たっぷりと頼もしいところを見せていた。

この調子だと今年も住高に勝って見事四年連続優勝できるだろうと予想したものの、いよいよ試合当日はハラハラする程の試合ぶり、見事までとはゆかなかったが辛うじて勝つことができた。「現在部員の数は」「三年生が四人、二年生が四人、一年生が十人です」と部員不足で困っているクラブにとっては羨しい限りである。又、三年生は夏頃まで引退せず、部員間も大変睦まじくチームワークも充分にできている。

「クラブと勉強の両立についてどうお考えですか。」

「これが大きな悩みです。特に考査中に試合がある時など練習を強制する事も出来ませんしでも両立は本人の意志次第で可能でしょう」と深刻な表情で語られた。運動クラブと勉強の両立は今更の問題ではないが結論は意志が強く、忍耐力のある人こそ見事両立できるのではないだろうか！。練習日は木曜を除いて週に五回、只今、部員募集中、忍耐力のある女性はどうぞお入り下さいとのこと。「モットーとしている事はありませんか」

ファイトを持って！

「『明朗』『団結』『礼儀』です」この三つの言葉は社会生活に必要な人間形成の大切な精神に通づるだろう。

すぐお隣りでも男子排球部がこれも又猛練習中である。

女子排球部について尋ねると。「チームワークとれて、部員不足の様子もなく、練習も熱心にやっているのに府民会に良い成績が上げられないのはおかしいと思いますね」となかなか手きびしいお言葉を頂だいした。今後の試合には持ち前のチームワークをもとにして見事な成果を上げて頂きたいものだ。

〃女排アベノ〃の名を目指してファイト！　ファイト！

スポーツ

新学期も半ば入り、ますますスポーツが盛んになった。以下は各運動クラブの成績である。

○バレーボール

府民体育大会

（男子）

一回戦

本校　21――17

21――19　池田高

回戦二

本校　21――8

21――11　成城工

対外試合

本校2――0商大府高

本校2――1住吉高

本校2――0夕陽高

本校2――1一高

本校1――2今工高

本校1――2桃山高

本校0――2高津高

（女子）

本校2――1住吉学園高

○サッカー

本校1――1今工

○卓　球

大阪府新人シングルス大会

（男子）

二回戦

二ノ六　安井（栄）0――2

二ノ七　茶弘0――2

三回戦

二ノ五　中川0――2関大

四回戦

二ノ六　安井（広）0――2関大

六回戦

一ノ五　平瀬0――2山本高

（女子）

一回戦

二ノ五　辻川2――1生野高

二回戦

二回戦

二ノ五　辻川1――2四天

大阪府新人ダブルス大会

（男子）

二回戦

中川　安井（広）0――2日新高

三回戦

平瀬　安井（栄）0――2市岡高

○野　球

本校0――4御所工高

本校11――9関西高

本校6――0北野高

近畿春季大阪予選

（選抜出場の昔により、一、二回戦は無し、以下は三回戦以後の成績）

本校11――0追手門高

（五回コールド）

本校3――0生野高

本校7――0桃山高

（七回コールド）

本校4――3浪商高

本校2――3八尾

○バスケット

（女子）

本校31――22南

本校33――22布女

本校52――27市岡

五月十日現在

日曜映画評

路傍の石……

これは山本有三の代表的著作の一つの映画化である。前に松竹で映画化されたが今度は東宝のもので前の作品より多少短くなっているが内容は一層充実している。監督は久松静児で彼独特の技術や振付が多分にほどこしてある。キャストは愛川吾一には太田博之、母のおれんには原節子、父庄吾には森繁久弥、次野先生に三橋達也等演技はやはり原節子と森繁久弥が抜群のうまさが感じとれる。又、吾一役の太田博之も名演技である。さて、この映画を見て最初に感じた事は、それは吾一という私には足元にも近づかない様な有能な少年が学資が無いが為に進学を断念せねばならなくなり、クラスでびりでその上一年落第したという猛者なる少年が、金が有る為に進学できたと言う一種の矛盾に対する憤りと言うものである。もしも、諸君たちの中にもその様な心が有ったなら、少しづつでも見方を変えねばならない。前書きはこの辺で。

矛盾に対する憤り

内容に入る前に一言、最近、文学作品の映画化が盛んである、例えば谷崎潤一郎の「細雪」、夏目漱石の「坊っちゃん」、徳富蘆花の「不如帰」、志賀直哉の「暗夜行路」等、数限りなくあるが、諸君はこれらの数多くの作品の内、いくつかは見られた事と思う。しかし、君達の中で映画を見る時、ただその筋書きを見て「俺は誰々の○○という文学映画を見た」と言って大きな顔をする人がいるが、その様な人は観賞能力は零点である。筋を見る位なら小学生でも出来る。高校生にもなって筋書きしか解らぬ様では全くもって情けない。主人公の心境、当時の社会風俗、其の他色々な事を見、又、理解してこそ文学映画、いや、映画を見たと言えるのであろうか。心を暗くする様な感じがした。又、当時の主従の関係はどうであろうか。あの映画では現在のテレビに出てる「番頭はんと丁稚どん」とか言うドラマ等には及びもつかない厳格さと言うものがある。たとえ主人の言う事が違っていても、それに従わねばならないとか、朝は日の出ぬ内にたたき起こされて掃除をして朝飯になると奉公人が階級順に並んで食事をして、食事の時の挨拶が悪いと言って恐られたり全く少年が気の毒になるくらいである。しかしであったのだろう。その時の態度は以前の吾一に返り、嬉しさがあふれていた。

それから後、吾一はふとした事から店を飛び出して東京に行くここで映画は終っているが、ラストシーンで吾一が安吉から貰った手紙を読みその文章が「ダルマさん、ダルマさん、お足をお出し。自分の足で歩いてごらん」という簡単なものであったが、諸君にはこれがどんな意味をもっているかわかるだろう。この言葉は諸君の心にぜひ留めておいてもらいたいものである以前、松竹映画で見た人も、もう一度、違った会社で作られたのを見るのもいいだろう。一見お勧めする。製作・東京映画、配給・東宝　白黒ワイド

（映画研究部提供）

吾一がやぶ入りの時に家へ帰る時の心境はやはり子供らしく母に会えると言う気持でいっぱい

座談会　新役員にもの申す

荒川 H・Rを考えよ 欲しい自治会への関心

小西

出席者
会長　石井　重光
副会長　安井　栄治
書記　小西　令子
会計　久下　元子
三年　荒川　均
三年　芦田　朋子
二年　吉沢　正尹
二年　渡辺　久子

今日はお忙しいところをおそれいります。さてさっそくですが、自治会新役員も決定し、執行委員の胸中はいかがばかりと存じますそこで阿倍高生を代表してこの四人の方に、新役員に対して希望を述べていただきたいというわけです。

石井　僕は口約しなかったわけですが、皆さんの考えを知りたいと思います。

荒川　現在の自治会は、二、三年前に比べて活発になって来たのとちがうかな。君は（会長）どう運営しようと思いますか。

石井　僕は全然上り坂だなとと思わんけど。具体的にといわれると困りますが、前の委員のことにもなることだし、山本さん（三十三年度後期会長）の時に比らべて、なにか不安さが感じられるわけです。山本さんは新しいことを考え実行に移されたのですが　仮の意志がおきざりになってしまって。

荒川　君が口約したくないという気持わからないでもないけれどまあ、副会長の安井君どう？

安井　執行部の独走みたいでしょ、今までは。その一例が、演説会の時、あれでは一生懸命になって聞いている人に迷惑ですし、演説の主旨がわかりもしないのに投票はどうしているのかな。僕ら執行委員になってからには、低調な自治会という汚名を返上しますのかな。けどそれだけでは低調とはいわれないと思うけど……。

荒川　あれでもやじといわれる

安井　僕もそう思います。他の面にでもいえることでしょ。例をあげろといわれたら困るけど。

荒川　君はその事実をみて、どう解決しようと考えてる？

安井　声という投書箱を利用させて、自治会と一般生徒との間を密接にして行きたい。

吉沢　そうすると生徒に頼ってばかりという感じとちがいますか

荒川　控室も大切でしょう。その必要を感じてるのは運動クラブの人だけだろう？そんなんだったら自転車通学の方を優先的にして欲しいな。それに特別に場所を決める必要ないでしょ。空地の利用をしたらどうかな。

安井　でもそれだったら盗難の心配がありますね。

荒川　だからその防止のためにも通学者だけがお金を出し合って番をたのんだらいいと思うけど。

芦田　話は違いますけど、皮靴が解禁になったわけですね。遅刻した人がわざと大きな音をたてて歩いて、やかましくて授業も出来ないでしょ。

石井　その皮靴の件、執行部が全然知らないうちに許可になったんだ。やかましいという事、阿倍高生の理性にまかさん事には。

渡辺　それにあの許可になった時の理由。私らなっとくできないのですけれどもね。

荒川　君はその事実をみて、どう解決しようと考えてる？

安井　声という投書箱を利用させて、自治会と一般生徒との間を密接にして行きたい。

吉沢　そうすると生徒に頼ってばかりという感じとちがいますか

荒川　控室も大切でしょう。その必要を感じてるのは運動クラブの人だけだろう？そんなんだったら自転車通学の方を優先的にして欲しいな。それに特別に場所を決める必要ないでしょ。空地の利用をしたらどうかな。

安井　でもそれだったら盗難の心配がありますね。

荒川　だからその防止のためにも通学者だけがお金を出し合って番をたのんだらいいと思うけど。

芦田　話は違いますけど、皮靴が解禁になったわけですね。遅刻した人がわざと大きな音をたてて歩いて、やかましくて授業も出来ないでしょ。

石井　その皮靴の件、執行部が全然知らないうちに許可になったんだ。やかましいという事、阿倍高生の理性にまかさん事には。

渡辺　それにあの許可になった時の理由。私らなっとくできないのですけれどもね。

充実さがみえない自治会

荒川　しかしそれでいいのとちがいますか。僕から言うと、執行部は独走しすぎてると思いますけど。

石井　認めます。前の会長の時からも言われていました。事実、執行委員会の議案など、前会長の考えだけで決定されてたわけです

活躍する執行委員　於会議室

だから充実さがみえないのです。自分のクラス以外に生徒が何を考えてるか、見当もつかんわけです僕らは少なくともそういう事は直しますよ。

芦田　会長さんがおっしゃることよくわかりますが、一番の問題点はH・Rの利用ということでは

渡辺　それから伝達が完全に行われていないという点、私達にとってすごく不安なわけですが、その点について……

石井　伝達の不完全ということは事実です。それをなくすために山本会長の時に黒板がつくられたわけですがね。それをいままで活用してもらえなかった。僕達としては大いに利用したいと思います

芦田　それに必要だからつくられた筈の委員が、年間通じて活動しているのは厚生委員だけでしょそういう点、新役員の方で考慮して欲しいと思います。

荒川　さっきのH・Rの事、真剣に考えてくれよ。授業にとられたり、試験にとられたり。実にくやしかったで……。それからさっきの黒板のことね。結果だけを報告するというのは誰にでもできることだと思います。決意されてから実現するまでの期間がちょっと長すぎるように思われるのですが……。たとえば自転車通学の件なんか。

石井　そのことは学校側も一応場所を決めてくれたけど、運動クラブの控室もないのに自転車置場を作るのはということらしい。

復活させよう予餞会

荒川　そうそう、会長さん家庭――では最後に、執行部に望むこと、及び阿倍高生に対する希望ということをひとつ。

荒川　予餞会、復活させてもらわれないものかな。

石井　幸いかどうかはさておいて一、二年生は予餞会についてはなにも知らないわけだ。たしか、やめたのは、三年生の出席が少ないという事実にもとずいて、そうなったようだけど……。そういう声よく聞きます。僕一個人としては復活させたいな。

荒川　頼むよ。僕ら一生懸命になって新役員の方に注文つけたんだけれど、一つ執行委員から僕らに対して。

小西　自治会というものにもっと関心をもってもらいたいわ。積極的にね。

吉沢　積極的ということは？

小西　登校、下校の際には是非あの黒板を見ていただきたいわ。そうすることによって自治会の動きというものがわかってもらえるわけですから。

久下　とにかく〝執行部の独走〟という汚名を私達の手で返上しなくてはね……。

――今日はどうもお疲れさまでした。

みんなのひろば

どうしてやめた積立制

来年には楽しい修学旅行を控えているのですが、最近それについて不思議に思うことが一つあります。それは旅行費用の積立制度がなくなった事です。二年前までは私達にとって重い負担ですのは私達にとって重い負担です。一年間でも積立制度にすればいくらか軽くなると思うのです。学校側にも言い分があると思いますが、是非月々の積立を お願いしたいものです。（二年女子）

この積立制度について三項目に分けてお答えします。

①学校としての積立制度を止めたのではありません。現三年の関係者申し合わせの上でこの学年として取り決めたものです。

②一度に五千円納入しているのではなく、二回に分納しています。

③重い負担だといわれている様ですが、昨年学年始めにこの旨を通知し各自積立貯金など自由な方法で用意しておく様に申しておいたのです。

（三年主任荒木先生）

他校訪問

大阪府立夕陽丘高校 めずらしい〝休部〟制 整然とした図書館

生駒嶺をはるかにのぞんだ天王寺小宮町に、名門夕陽丘高校が警察病院と肩を並べて建っている。「大阪府立夕陽丘高等学校」と、彫り抜かれた美しく立派な石柱の校内を入り、石畳を数メートル登ると横に、三階建の同窓会館と、所狭しと、チューリップ、三色スミレ等が咲き誇っている花壇と温室に目がすいよせられた。薄暗い、異様な雰囲気を持つ廊下を靴音も気にしながら、校舎内外の見物をさせてもらった。

廊下ごとについている時計、本校とはくらべものにもならないほど、すみずみまで掃除されている。そして、本校同様に〝元女学校〟としての貫禄を示してか、女子の設備はよく整っているとのことである。例をあげれば、女子便所は各階ごとについてあるのに、男子便所は一階にしかないとのこと、また家庭科教室の設備も本校とよく似ている。しかし理科系の不備が目に写った。一きわ美しかったのは図書館だった。整然とならべられた机、白いカバーをつけた椅子。明るい陽射しをうけた二教室くらいの大きさである。

一方運動場では、丁度阪大生と夕陽高ホッケー部の試合が展開されており、を棟はずれた隅に新築の柔道室がある。黒帯の人も数人まじって、柔道部室の前でゲームをしていた。男子排球の応援に余念ない姿など微笑ましい風景であった。小高い所にプールとテニスコートがあり、新入部員の指導に汗だくの先輩等、本校となんら変りがない。

ところで夕陽生最大の難関は、クラブと勉学の両立であるらしい。両立できないものは罰として、〝休部〟しなければならないということだ。つまり、成績がかんばしくない者は、一時クラブ活動を停止させられるとのことだ。しかしそこは夕陽生のこと、うまくやっていると想像するしだいである。ひとつ本校にもそのような制度はいかがなものか。

近いニュースでは、去る四月中旬、東京方面に修学旅行に行って来られたとのである。

勿論男女同行とのこと。そして旅行先は、毎年生徒間のアンケートによって決定され、なかなかスムーズに事が運んでいるというのもうらやましい話。

また、夕陽丘高も、自治会の低調さには大弱りとのこと。昨年度後期には一ツのポストに立候補者が各一名ずつで、信任、不信任の投票などはないということだ。ここでは新聞部と自治会とは直属になっており、少し本校の制度と違うようである。折りよく訪問当日議会が開かれており、ちょっとのぞかしていただいたが、なるほど出席議員や、意見が少なかったのも低調さを証明するかのようでもあった。

明るい日射しの下で読書する夕陽丘生

座談会を終て

去る四月二十一日、全校投票の結果、自治会新役員が決定した。前年度からもちこされていたいろいろな問題を解決しながら、新たな豊富をもって、活躍している執行部。そこで四月二十五日、新聞部部室において、出席者のうち四名の方に阿倍高生を代表して、自治会活動を発展させるため、新役員にいろいろ注問をつけていただいた。諸君は読まれてどう思われたろうか。

（新聞部）

当日の四人左から吉沢、渡辺、芦田、荒川さん

百万玩具 その一 張子の虎

我国の郷土玩具は、木で作ったもの、土で作ったもの、紙で作ったものなど、その種類の多いことは世界の国々の中でも特に際立っている。紙で作った玩具の中で、張子作りのものは非常にその技術がすぐれていて、三春人形のように、子供の玩具というよりは、立派な芸術品にまですゝんだものがあるが子供達に馴染み深い傑作は首振り虎であろう。猛獣の虎を子供の相手とするために、ユーモア化して、而も虎の威容を失わずに表現し、一目で虎と思わせる洗練された妙技は玩具中でも、王座をしめるものの一つであろう。

張子の虎が何時頃から作られたかは分らないが、貞享四年、井原西鶴の「本朝若風俗」の中に道頓堀の真斉橋に人形屋の新六と言へる人、手細工に獅子舞あるいは張貫の虎、……の一節がある。

詭が魔を除くという由来は、虎骨が薬用となり、その頭骨は頭痛を治すという俗説に基くようで、中国では昔、皇子降誕の時、虎頭を祀って邪魔を退く慣例があって我国でも「御産所日記」に「永享六年二月十一日午後御湯治、虎頭八人杓御湯具」という事がある。

張子の虎が江戸文化の隆盛期になって、昔の味を失なったものが多い。（森田丈三先生）

今日でも、各地で首振りの虎が作られているが、けばけばしい色たことが考えられ、魔除けの信仰的なものとして作られたものと、五月節句の飾りものとして作られたもの、子供の遊びの対照として作られたものの三種に分けることができる。飾りものは大体、大型で、中には加藤清正の虎となっているものもある。信仰的な虎としては大阪の神農虎が有名で、首振り虎の中でも、その形の調和は、他の虎を圧している。

薬問屋の並んだ道修町の少彦名社は俗に神農さんと呼ばれ、有名な薬の神様で、毎年十一月の祭日に疫病除けの守りとして、笹に吊るした張子の虎が授与される。文政五年秋、大阪にコレラが流行した時、道修町の薬屋が「虎頭殺鬼雄黄円」という丸薬を売ったが、当局に注意をうけ、張子の虎を作って神農さんに供え、疫病除けとして配布したのがはじまりとのことである

子供の遊び相手としては、首振りだけでなく、車に乗ったものなども作られている。